



まず呼ぼう、AED

AED 20 周年記念 ロゴマーク
使用の手引き

1. 手引きの目的

この手引きは、AED20周年記念ロゴマークを使用する際のデザインの規定や注意点を定めたものです。日本国内におけるAEDの一般使用解禁から20周年を迎えたことを広くアピールするために、趣旨をご理解いただき適正なご使用をお願いいたします。

2. ロゴマーク

キャッチコピーのコンセプト

突然の心停止からの救命にはAEDによる迅速な電気ショックが不可欠です。AEDが現場にあれば、AEDが電気ショックの必要性を判断し、救命処置をサポートしてくれます。医療従事者を呼ぶのと同じ気持ちでAEDを現場に連れてきてほしい。この救命のための最初のアクションである「AEDを呼ぶこと」をAED20周年を記念した取り組みのキャッチコピーにしました。

ロゴマークのコンセプト

一目でAEDについてのロゴマークであることが認識できるよう、象徴的な色とハート形状を使い、「AED」の文字を大きく配置しました。大きなハートマークの一部分を切り取った形がAEDになっており、それを取り出すようなデザインで「AEDを呼ぶこと」を親しみや安心感を込めて表現しました。

2.1 基本ロゴマーク（和文キャッチコピー）



2.2 基本ロゴマーク（英文キャッチコピー）



2.3 基本ロゴマーク（和英併記キャッチコピー）



2.4 基本ロゴマーク（キャッチコピーなし）



注 意

- この基本ロゴマークのキャッチコピー部分「まず呼ぼう、AED」、「Call an AED first」を他の書体で代用してはならない。しかし、文章中や見出しなどに単独の文字要素として使用する場合は、書体と色は指定しない。
- 通常は基本ロゴマーク（和文キャッチコピー）を使用すること。
- キャッチコピーのみの使用は禁止する。

3. 応用例

表示場所などに応じて下図のロゴマークが使用できます。

3.1 縦タイプロゴマーク (和文キャッチコピー)



まず呼ぼう、AED

3.2 縦タイプロゴマーク (英文キャッチコピー)



Call an AED first

3.3 縦タイプロゴマーク
(和英併記キャッチコピー)



まず呼ぼう、AED

Call an AED first

3.4 横タイプロゴマーク小 (和文キャッチコピー)



3.5 横タイプロゴマーク小 (英文キャッチコピー)



注 意

- 通常は基本ロゴマーク (和文キャッチコピー) を使用すること。

4. 使用対象

このロゴマークの使用対象は以下とします。

- ・ AED20 周年記念事業に関連する媒体等。
(カタログ、展示物、印刷物、記事、WEB ページ、動画コンテンツ、名刺など)

5. ロゴマーク使用者への注意点

ロゴマークの使用者は、以下の内容に注意してください。

●使用期間

2024 年 3 月 1 日 から 2025 年 7 月 31 日 まで

●使用条件

AED20 周年記念事業の目的（AED20 周年を契機として① AED の設置率・使用率向上、② AED の適正な管理の一層の推進をもって、心停止の救命率のさらなる改善、安心安全な社会づくりに寄与する）に関連する媒体等以外には使用しないこと。

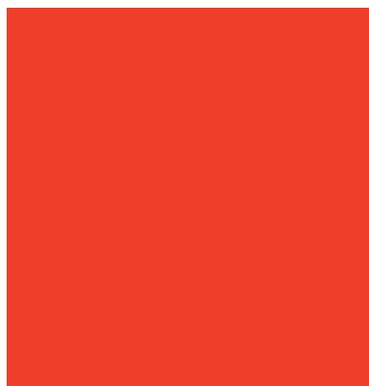
ロゴマーク使用の際、以上を順守できない用途の場合、AED20 周年記念企画実行委員会の許可を得なければならない。

6. 配色

ロゴマークの配色は、下記の指定色を必ず使用してください。

注 意

- 背景色は白とすること。
- 応用例のロゴマークも同様とする。



特色

DIC 159

CMYK(プロセスカラー)

C:0 M:77 Y:68 K:0

RGB(画面表示用)

R:235 G:92 B:69

WEB(画面表示用)

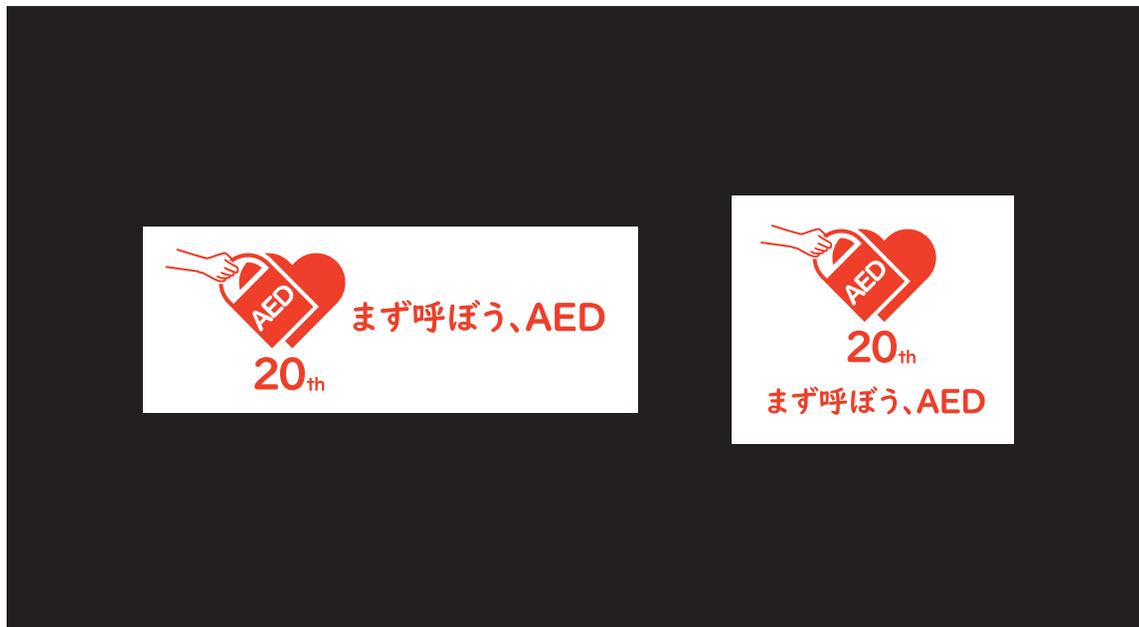
#eb5c45

7. 濃色背景表示

ロゴマークを使用する場合に背景色全体を白で指定できない時は、下図のように白背景付きのロゴマークを使用してください。

注 意

- 配布データ内の背景付きロゴマークを使用すること。
- 応用例のロゴマークも同様とする。



8. グレースケール表示

印刷媒体または条件によって制限がある場合は、グレースケール版が使用できます。

注 意

- 応用例のロゴマークも同様とする。

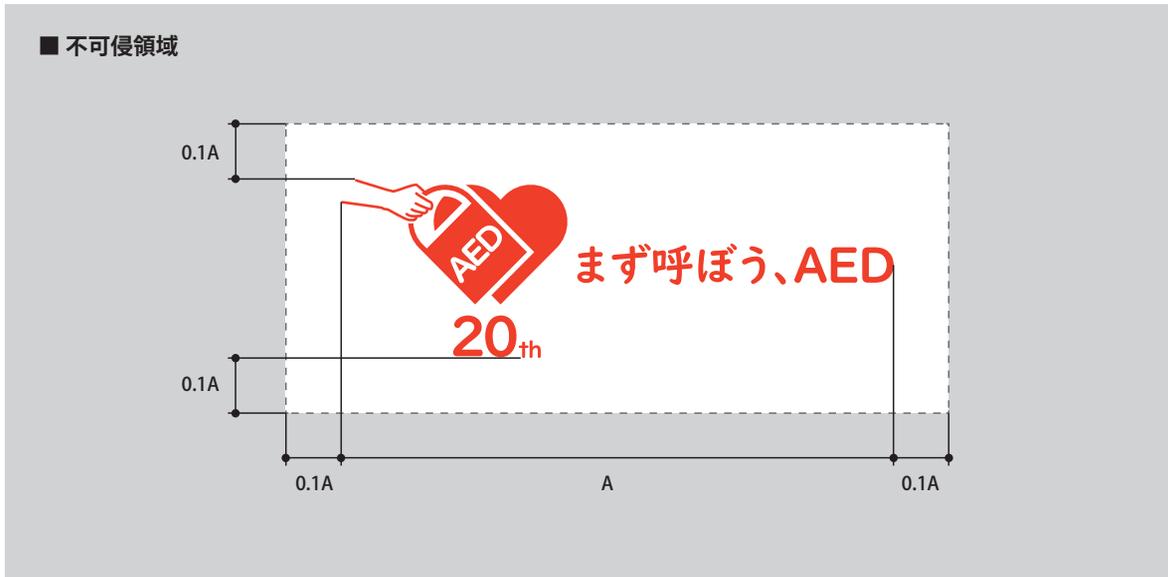


9. 不可侵領域規定 (アイソレーション規定)

ロゴマークの視覚的効果を十分発揮させるために、他の要素を入れてはならない不可侵領域を設けます。不可侵領域には原則として他の表示要素を入れないでください。

注 意

- 使用するアイテムの端 (エッジ) にあたる部分に表示する場合には、不可侵領域は適用されない。
- 応用例のロゴマークも同様とする。



正しい例



不可侵領域が十分に確保されていない

10. 最小使用サイズ

印刷物における最小使用サイズを図示します。最小サイズで使用する場合は、以下のパターンのみとします。印刷物以外の場合は、個別に条件が異なるためサイズを記載しませんが、ロゴマークとして認識可能なサイズでの使用をお願いいたします。

10.1 基本ロゴマーク (和文キャッチコピー)



10.2 基本ロゴマーク (キャッチコピーなし)



10.3 縦タイプロゴマーク (和文キャッチコピー)

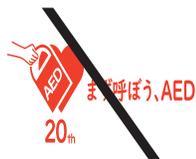


11. 使用禁止例

ロゴマークの誤った使用例を図示します。ルールに沿って統一した表示をお願いいたします。

注 意

- ロゴマークは支給された正規データを使用すること。
- 支給された正規データを加工・編集しないこと。
- 他の画像と重ねて使用しないこと。
- ロゴマークはいかなる理由があっても、変更を加えたり、追加文字を付加してはならない。
- 応用例のロゴマークも同様とする。



変形してはならない



アウトライン化してはならない



文字を削除してはならない



指定色以外を使用してはならない



縁取りを追加してはならない



ロゴマークが見えにくい背景の上
(色、模様)に配置してはならない



文字を変更してはならない



反転させてはならない



図形と文字のバランスを変更
してはならない



立体化してはならない



影を付けてはならない



ぼかし等の処理をしてはならない